

## 全国で養護教諭として活躍する卒業生～北海道から沖縄県まで～

多くの卒業生が日本各地で養護教諭として活躍しています。昨年度は、北は北海道から、南は沖縄県まで、文字通り全国各地の教員採用試験に合格し、4月より養護教諭として勤務しています。出張や実習巡回等の機会を利用して、各地の卒業生の保健室を訪問しています。各校種の保健室の養護教諭として活躍している卒業生の頼もしい姿に感動し、毎回エネルギーをもらっています。

私は大学卒業後、1年間大阪の中高一貫校で非常勤講師をし、教員採用試験に受かったため今年の4月から北海道の中学校で働いています。縁もゆかりもない北海道でしたが、教員採用試験を受けようと思った理由は、私自身早く正規採用されたかったからです。

親戚も友達もない北海道で働くのはとても不安でしたが、関西から来たということで、同僚の先生方、保護者の方や地域の方が大変良くしてくださって、充実した毎日を送っています。仕事では失敗ばかり繰り返していますが、周りに助けられながら頑張っています。

また、人口が5000人ほどの小さな町なので、学校と地域のつながりが強く、様々な地域のイベントに積極的に参加したり、地域の人々から学校行事に協力してもらったりしています。町全体で子どもたちの成長を見守っているような感じがして、私はそのような雰囲気が好きです。

私が勤めている中学校は全校生徒100人ほどの学校です。しかし、北海道にはもっと生徒数が少ない学校があるので、これでは小規模校とは言えません。子どもたちは関西の子どもよりも純粋で幼い感じがします。しかし、遊ぶところが少ないためにネット環境が充実しすぎたり、クラスのメンバーも幼稚園の頃からずっと変わらなかつたりするため、新しい人への接し方やコミュニケーションが苦手な子が多いように思います。また、学校の構造も北海道仕様となっており、関西とは違うところがたくさんあります。これらの環境の変化にギャップを感じ、悩んだり苦勞したりもしました。しかし、それと同時に新しく学ぶこともたくさんあり、やりがいを感じながら子どもたちと楽しく充実した毎日を過ごしています。

この小さな中学校内でも、子どもたちは様々なことに悩んだり敏感になったり、傷ついたりしてしまいます。そんな子どもたちが楽しく思い出に残るような中学校生活を送れるように支えていきたいと思っています。これからも頑張ります！

(北海道 中学校勤務 10期生)

